

2年半の研修を経ていちご農家へ（掛川市）

R5.11.20訪問



お名前	A・Mさん (A農園)
就農した時期	2015年3月（就農8年目）
栽培品目	いちご（紅ほっぺ）
栽培面積	33a
販路	JAへ全量出荷
働き手	本人・母・パート数名（繁忙期のみ）



■ 就農したきっかけ

大学で農学を学び、卒業後は農業関連の仕事に就くことを希望していました。県立農業大学校（現：県立農林環境専門職大学）で7か月の職業訓練を受け、いちご栽培を選択しました。その後、いちごの農園で2年半研修を受け2015年に就農しました。

■ 活用した支援策等

就農するにあたっては、自己資金の他に国の「青年就農給付金」や日本政策金融公庫の「青年等就農資金」等を活用し16.5aのハウスを整備しました。令和2年には国の「産地生産基盤パワーアップ事業」を活用し、さらに16.3aのハウスを増設し規模拡大を図りました。

■ 就農して苦労したこと

高設栽培を行っていますが、小柄なため定植前に行う栽培ベンチの耕うん作業等は大変です。また、ハウス内の消毒散布は長さ50mのホースをひっぱりながらの作業となるため、体力面できつく苦労しています。

■ 工夫したこと

作業の効率化を図るため収穫台車を導入し、無駄な作業をしないように努めています。繁忙期以外の日曜日は休日としています。

■ 今後取り組みたいこと

経営規模の拡大については検討中です。将来的には正社員を雇用することで経営の安定化を進めていきたいと考えています。